

新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成22年 2月 9日																							
		事業担当課		道 路 課																							
事業名	交通安全施設等整備事業 一般県道化女沼公園線		補助・単独の別	補助	事業主体 宮 城 県																						
施行地名	みやぎけんおおさきしふるかわおの 宮城県大崎市古川小野地内			管理主体	宮 城 県																						
根拠法令	道路法																										
事業の概要	事業目的	<p>一般県道化女沼公園線は、大崎市古川の化女沼公園を起点とし国道4号へ至る延長約2.9kmの道路であり、東北縦貫自動車道長者原スマートICへのアクセス路となっている路線である。当該箇所には、化女沼ダム建設中に、小中学校の通学児童の安全性を確保するため設置した、仮設の組立式歩道が設置されていた。</p> <p>近年、部材の腐食等により床版に穴が開くなど、歩道の通行に支障をきたすとともに、歩行者、自転車の通行の安全確保が図れていない状況にある。</p> <p>これらのことから、当該区間に歩道を整備し、通学児童及び沿線住民の利便性と安全性を図るものである。</p>																									
	事業内容	<p>歩道整備 延長1,262m,歩道幅員2.5m</p>																									
	事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 ( )</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>内用地費</td> <td>[ 55 %]</td> <td>[ 45 %]</td> <td>[ - %]</td> <td>[ - %]</td> </tr> <tr> <td>0.74 億円</td> <td>0.08 億円</td> <td>0.407 億円</td> <td>0.333 億円</td> <td>- 億円</td> <td>- 億円</td> </tr> </tbody> </table>				全体事業費		費用負担内訳				国	県	市町村	その他 ( )		内用地費	[ 55 %]	[ 45 %]	[ - %]	[ - %]	0.74 億円	0.08 億円	0.407 億円	0.333 億円	- 億円	- 億円
	全体事業費		費用負担内訳																								
			国	県	市町村	その他 ( )																					
	内用地費	[ 55 %]	[ 45 %]	[ - %]	[ - %]																						
0.74 億円	0.08 億円	0.407 億円	0.333 億円	- 億円	- 億円																						
事業期間	<table border="1"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="3">平成22年度～平成24年度(3年間)</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成22年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成22年度</td> </tr> </table>				事業期間	平成22年度～平成24年度(3年間)			用地買収着手予定年度	平成22年度	工事着手予定年度	平成22年度															
事業期間	平成22年度～平成24年度(3年間)																										
用地買収着手予定年度	平成22年度	工事着手予定年度	平成22年度																								
施設管理の予定	<p>道路管理者である宮城県が維持管理を行う。</p>																										

事業の必要性	<b>上位計画等</b> 土木行政推進計画 宮城県土木部（平成12年策定 平成20年5月改定）
	<b>事業を巡る社会経済情勢等</b> <b>社会経済情勢</b> 一般県道化女沼公園線は、現況交通量2,256台/12hの東北縦貫自動車道長者原スマートIC <small>ちようじやはら</small> と国道4号を結ぶアクセス路となっている路線である。さらに5件/H14～H18の交通事故が発生するなど児童・生徒の安全な通学路の確保が強く望まれている。なお、計画区間は学校指定の通学路となっている。 <b>地元情勢、地元の意見</b> 住民（長岡小学校PTA地区会長・大崎市）から歩道設置要望あり。 長者原スマートICへのアクセス道路であるため、交通量が多いにもかかわらず部材の腐食等により床版に穴が開くなど、歩道の通行に支障をきたすとともに、歩行者、自転車の通行の安全確保が図れていない状況にある。
事業の有効性	<b>事業効果</b> <b>想定される事業効果</b> 当該区間に歩道設置を行うことにより、長岡小学校、古川北中学校に通学する児童等の安全確保が図られる。

事業の効率性	関連事業の概要・進捗状況等		
	ほ場整備事業 江合川左岸地区（平成10年～平成23年）		
	代替案との比較検討		
	自動車交通量、自転車・歩行者交通量から歩道幅員は2.5mとして計画を行う。道路沿線の土地利用状況、歩道の連続性から、片側歩道として計画を行う。		
	コスト縮減計画		
環境への影響と対策	盛土材料については、他工区からの流用土の活用を検討し、コスト縮減を図る。路盤、舗装材料については、リサイクル材料を使用し、コスト縮減を図る。		
	費用対効果		
総合評価	事業効果を数値化することが困難であり、費用対効果は算出していない。		
	地域指定状況等		
	特になし		
総合評価	影響と対策		
	自然環境、景観に配慮し、地形改変を極力抑えた設計を行う。		
総合評価	事業箇所評価結果		
	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)
	交通安全施設等整備事業 (新規事業箇所)		-
	1位 / 1	1箇所	
総合評価	対応方針		
	事業実施		

一般県道 化女沼公園線 小野歩道設置工事



現況



現況